安全パトロール

横浜港本牧ふ頭地区用地測量業務
（関東地方整備局　京浜港湾事務所）

弊社では現場作業時の安全対策を強化するため、現場担当ではない女性社員による安全パトロールを実施しております。
日ごろ現場経験のない第三者目線で点検することで、見落としがちな危険箇所を見つけることを目的としております。
今回は、横浜港本牧ふ頭地区にて安全パトロールを実施してまいりました。

安全パトロール実施状況

まずはじめに作業工程を確認し、それぞれの作業箇所の確認を行い、作業時に危険性を感じることがないか聞き取りを行った。

パトロール結果を担当者へ報告を行う。担当者全員で意見交換を行い改善案を検討した。
改善案①…作業車にサンシェードを設置。
改善案②…急勾配の階段に安全帯を設置。

パトロール結果

熱中症対策

5℃～15℃の冷たい飲み物を飲むことにより、体温が下がり熱中症を予防する。

風を取り込むことにより、汗を蒸発させ身体を冷やす効果がある。

熱中症対策をさらに強化。
車内温度も軽減し、休憩スポットとしても利用されていた。

このような熱中症対策を行うことで、体調管理の徹底を図っております。
適度に休憩を取りながら、こまめに水分補給を行い、体調が悪くなっていないか、声を掛け合いながら作業を行っています。

交通事故対策

他業者も工事中のため、大型車両の通行が頻繁であり作業中に危険を感じた。

交通事故防止のため、「測量作業中」であることを周知するのぼり旗を設置していた。

落下時安全対策

堤防と海面に2m程度の高さがあり、万が一落下した場合簡単には救助できず、命を守るためには身体を浮かせて救助を待つ時間が必要だと感じた。

万が一海へ落下した場合に身を守るためライフジャケットを着用し、早急に救助を行えるよう救命浮輪を携行していた。

階段昇降対策

階段が急勾配で滑りやすく、注意が必要。

安全に昇降するために、安全帯を利用し手すりを持ち十分に注意する。

今回現場をパトロールしたことで、実際に歩いてみないとわからない様々な場所に危険が潜んでいると感じました。安全対策を行うことで安全な作業を遂行することができ、無事故で現場作業を完了することができました。今回行った対策を今後もその状況に合ったものへと見直しを図っていくとともに、他現場でも活用し更に安全への取り組みを向上してまいります。